

障がいのある方の雇用に取り組む

株式会社ナプラス (城陽市) 株式会社ベストプランニングシステム

「京都はあとふる企業」です

(株)ナプラスと(株)ベストプランニングシステムは、隣接しているグループ企業です。両社で力を合わせて障がい者雇用を進めています。



両社の主な事業内容

◆あらゆる廃棄物の処理◆廃棄物のコンサルティング

【障がいのある方の仕事】

(株)ナプラス

- ・発泡スチロールの検品・異物除去・機械への投入作業
- ・プラスチックの仕分け、圧縮機への投入作業

(株)ベストプランニングシステム

- ・缶・ビン・PETボトルの手選別作業
- ・処理困難物(ソファー等)の解体作業

【障がい者雇用の経過】

- ・(株)ナプラスでは十数年前より身体障がい者を雇用していましたが、ある経営者から「障がい者雇用により労働環境を改善できた」と聞き、2013年に城陽市障がい者自立支援協議会に参加し、身体障がい者以外の雇用と就労について学び始めました。
- ・2014年に協議会の実習を受入れ、社員も含め共に仕事ができるという実感を得ました。
- ・新工場建設にむけて、障がい者が生き生き働く同様な工場を見学して、その職場環境を参考に計画を進めました。
- ・新工場竣工後の2016年に(株)ベストプランニングシステムで5名の障がい者を雇用し、翌年、(株)ナプラスで1名を雇用しました。
- ・雇用と就労にあたっては、ハローワークやジョブパーク、障害者職業センターの協力を得ました。



【障がいのある方雇用をして】

- ・一生懸命に働く彼らの姿は、他の社員に働く姿勢を示し良い影響が出ています。
- ・障害のある方に対する気配りが生まれ、結果的に社員間のコミュニケーションが良くなりました。
- ・障害のある方と共に働く中で、職場環境の改善が進み、離職率が低下しました。
- ・組織の活性化につながり、会社・社員ともに成長しています。



【とくに工夫していること】

- ・ 3S (整理、整頓、清掃) を重点的に取り組み、モノの場所がすぐにわかる環境や片付け場所を周知し、労働環境の維持に努めています。
- ・ 希望休日を加味して、一人ひとりと話し合った上、雇用契約を結んでいます。
- ・ 作業手順書を作成し、誰でも分かるようにしています。
- ・ 労使共に障がい者就労支援機関等とつながりを持ち、問題は早期に解決するように努めています。

【障がい者雇用の今後の課題】

今後、雇用を継続していく中で、社員の一人ひとりが、夢や目標、働き甲斐を持てるように、会社のビジョンや作業内容、目標や評価する仕組みを全社員と共に考えて行く必要があります。

【代表取締役の思い】

人の人生の中で働くということは、たくさんの時間を占めています。その時間をやりがいがあり、物心共に満足できれば、彼らの人生も楽しく、充実し、生きがいのある人生と考えています。そういった幸せな人生を共にしてくれる社員たちを、一人でも増やすことがわが社の社会貢献であり、使命と考えています。



【Iさんに聞きました】

ハローワークの紹介で就労して3年目です。当初はハウスクリーニングの仕事を希望していましたが、今は満足しています。初めの頃は少し腰が痛かったが、それも慣れて無くなりました。

外国人労働者もおり、色々な人とのコミュニケーションが楽しいです。

「I君がいるから大丈夫!」と言われるように、会社に貢献していきたいと思います。

走るのが趣味で、10kmのジョギングで体力づくりに励んでいます。

【Hさんに聞きました】

就労移行支援事業所を経て、2年目になります。実習に参加して、自分に合っている仕事と思いました。

休日は、毎週ぐらい友人とブラックバス釣りに行きエンジョイしています。

貯金をして一人暮らしすることが目標です。料理や買い物も好きです。お金の管理もしっかり出来るようになって、目標を実現したいと思っています。